

精神神経医学講座

スタッフ 教授 鈴木健文 連絡先：takefumi@oak.dti.ne.jp

講師 石黒浩毅 連絡先：hishiguro@yamanashi.ac.jp

ホームページ：<http://www.med.yamanashi.ac.jp/clinical/psychiat/>

精神神経医学講座では臨床研究と並行して、精神・こころを形成する「脳」の働きについてヒトの血液や脳試料、そしてモデル動物を用いて、分子生物学的な手法による基礎研究を行っています。こころ、つまり性格や行動や精神疾患に関わる脳のメカニズムは少しずつ明らかにされてきたものの、脳科学は未知の世界が広がっています。しかし、テレビ番組や雑誌・書籍には国民受けしやすいだけで未検証の科学もどき情報が累々と垂れ流されています。例えば、脳に良いとされる健康食品は本当に効果があるのか？どのように検証されたのでしょうか。さらには最新科学と唱っている脳画像検査が我々に見せているものは精神疾患の原因なのか、あるいは病状進行による神経変性という結果なのか？それら多くの『医学情報』は明確に答えてくれません。科学とは検証課程において原因と結果とを誤認することにより真実から遠ざかることとなります。その結果が医学の発展を遅らせること、たとえば莫大な資金を投じた新薬開発を失敗に終わらせることにつながります。これは最近数年の世界で実際に起こった出来事です。私たちの講座では、皆様が医学の真実を見極められる、真摯に生命に向き合える人材へ育てていただきたいと思います。

研究室の主なテーマ

<臨床研究> 1. 治療抵抗性精神障害における電気けいれん療法 (ECT)の検証 2. 周産期における精神障害およびその支援、治療方法について検証 3. 染色体疾患患者の神経発達症など精神病症状の易罹患性および支援方法の検証 (臨床研究についてはベッドサイド研修の資格が得られるまでは匿名化された医学情報を解析するなどに限定されます)

<基礎研究> 1. 統合失調症、感情障害など精神障害の病態関連遺伝子の同定と、その遺伝子機能の精神表現型への影響の解明 (ゲノム研究、死後脳のトランスクリプトーム解析、iPS など培養細胞を用いた遺伝子機能解析、遺伝子改変マウスを用いた薬理行動解析・脳組織学的解析) ☆これらの一部は国内外の大学や研究所との共同研究です。希望者は短期留学の紹介・支援もします。 2. 産後うつのバイオマーカー探索

皆さんは将来、精神科医療を専門としなくても、精神科疾患の診療に少なからず関わり困惑することがあるでしょう。その時、精神を脳の機能と捉えられること、科学的・生物学的に理解していることが必ず役に立ちます。将来の臨床や医学研究を行う上で必要な基本的な知識と実験技術を取得し、国際交流の経験ができるような支援を考えています。忙しい勉学や部活動の傍ら、こころに興味を持ち一緒に楽しく語りあえる学生さんを募集します。